

事業名称	ボランティア活動等での施設利用ハンドブックの作成・配布
団体名・代表者	姫路ティラノレース実行委員会 会長 向井 裕美
協働の相手方	市民局 市民活動推進課 姫路市市民活動・ボランティアサポートセンター
目的	ボランティアで活動の場としての施設の会議室を利用することがあるが、最適な施設の会議室を探すのに手間がかかっている。ゆえに、施設会議室利用のハンドブックを作成配布して、ボランティア活動に活用してもらう。
内容	施設の会議室を 45カ所調査して（予定では50カ所）、A5サイズ22ページの冊子を1000部作成して、姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターのボランティア登録している350団体に2冊ずつ郵送配布した。
事業経過	令和7年 7月 掲載施設のリストアップ 令和7年 8月 掲載施設の利用内容調査・取材 令和7年12月 ハンドブックの原稿・レイアウト・デザイン 令和8年 1月 掲載施設への内容確認・承諾 令和8年 2月 ハンドブックの印刷 令和8年 2月 ハンドブックの宛名印刷・封筒封入・郵送
事業の効果	ハンドブックを広く配布したことで、姫路市のボランティア団体への利用促進を図れた。 利用者感想：こんな冊子が欲しかったと嬉しい言葉をもらった。 市民会館閉館間近で困っている団体にタイムリーに渡せた。 姫路の色々な団体に恩恵が与えられる助成金事業となり、効果が高いと言われた。
今後の展望	一定期間経過後に、ハンドブックの評価、施設の新旧更新、Web展開などを調査してハンドブックの更新の是非を判断して、実施する場合、再度、助成金申請をする。

【実施団体の事業総括・感想等】

団体運営での困りごとを、手間や費用で諦めるのではなく、姫路市の助成金を活用することで改善できたことは、団体の継続運営に大いに役立った。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

市内で活動する市民活動団体やボランティア団体にとって活動場所の確保は大きな課題であり、当センターへも多くの相談が寄せられていたが、本事業で作成したハンドブックにより、これまで把握しきれなかった利用料金や仕様などの市内各種施設の情報が整理され、より具体的な助言が可能となった。当センターに配架し、登録団体に配布した結果、市民団体より「欲しかった情報がわかりやすくまとまっていて助かる」といった肯定的な反響をいただいている。